

# 出版物紹介

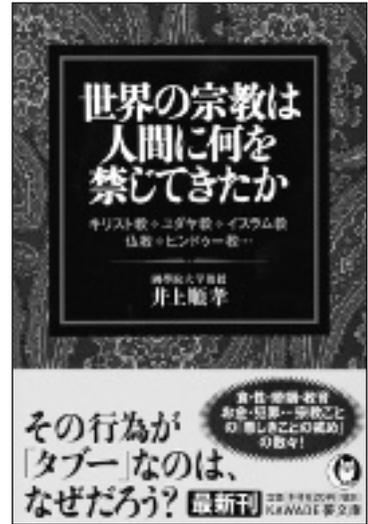
## 井上順孝『世界の宗教は人間に何を禁じてきたか』

(河出書房新社、2016年4月)

### 内容紹介

世界の宗教の戒律の問題を分かりやすく解説。イスラム教、ユダヤ教、上座仏教などに見られるよく知られた戒律だけでなく、身近に見られる宗教習俗をもとりあげ、人間がどのような宗教の戒律によって意識や行動に影響を受けているかを具体的に述べている。日本の宗教は本当に戒律が少ないのかという問いかけもなされている。内容は次の章立てから読み取れる。

- 1章 「食」をめぐる、さまざまなタブー
- 2章 戒律が分断する「性と愛」
- 3章 「死後の世界」はどう説かれてきたか
- 4章 何を尊び、どのように祈るのか
- 5章 「教育」と宗教はどこまで不可分か
- 6章 「お金」と宗教の悩ましい関係
- 7章 戦争を禁じる宗教、認める宗教
- 8章 生活に溶け込む信仰と戒律



## 井上順孝編『宗教社会学を学ぶ人のために』

(世界思想社、2016年4月)

### 内容紹介

1994年に刊行された同じ編者の『現代日本の宗教社会学』を大幅に改訂し、新しい構成のもとで編集されたもの。執筆者は編者の他、磯岡哲也、岩井洋、岡田正彦、弓山達也の各氏。第Ⅰ部は「宗教社会学の基礎理論」で、古典的な宗教社会学の理論、20世紀後半の欧米の理論、日本の展開が示される。宗教社会学に関わりの深い宗教心理学の学説、最近の認知科学の紹介もなされている。第Ⅱ部は「現代社会と宗教社会学」で、主に近現代の日本社会の宗教と社会の関わりについての分析、国際化・グローバル化が進む現代世界の宗教状況、そうした中での宗教情報リテラシーの問題などが扱われている。付録として文献解題、基本統計、参考となるウェブ情報一覧がある。情報化の進行を踏まえて、最近の新しいデータ・情報類を収録するとともに、それらを用いるときの注意点も述べられている。





## 井上順孝責任編集『第12回学生宗教意識調査報告』

(國學院大學研究開発推進機構日本文化研究所、2015年12月)

### 内容紹介

2015年4月から6月にかけて全国36の大学で実施された第12回の学生宗教意識調査の結果をまとめた報告書である。國學院大學日本文化研究所プロジェクト「デジタル・ミュージアムの運営および教育への展開」と「宗教と社会」学会・宗教意識調査プロジェクトのメンバーが中心になって行われた。

この意識調査は1995年に第1回が実施され、2015年の調査が12回目となり、かつこの12回目が最終調査でもある。有効回答数は5,773であった。第1回より継続的になされている学生およびその両親の信仰の有無、宗教への関心度合いといった基本的調査項目の他、オウム真理教に対する関心やイスラム教の認知度など現時点で重要と思われる調査項目が合計20ある。

2016年度にはこれまでの12回の調査報告書を再編集するとともに、12回の調査結果を比較した報告書が作成され、オンラインでも公開される予定である。

目次	
1. 調査の概要	1
2. 調査の目的	2
3. 調査の方法	3
4. 調査の結果	4
5. 調査の結果の考察	5
6. 調査の結果の考察(2)	6
7. 調査の結果の考察(3)	7
8. 調査の結果の考察(4)	8
9. 調査の結果の考察(5)	9
10. 調査の結果の考察(6)	10
11. 調査の結果の考察(7)	11
12. 調査の結果の考察(8)	12
13. 調査の結果の考察(9)	13
14. 調査の結果の考察(10)	14
15. 調査の結果の考察(11)	15
16. 調査の結果の考察(12)	16
17. 調査の結果の考察(13)	17
18. 調査の結果の考察(14)	18
19. 調査の結果の考察(15)	19
20. 調査の結果の考察(16)	20
21. 調査の結果の考察(17)	21
22. 調査の結果の考察(18)	22
23. 調査の結果の考察(19)	23
24. 調査の結果の考察(20)	24
25. 調査の結果の考察(21)	25
26. 調査の結果の考察(22)	26
27. 調査の結果の考察(23)	27
28. 調査の結果の考察(24)	28
29. 調査の結果の考察(25)	29
30. 調査の結果の考察(26)	30
31. 調査の結果の考察(27)	31
32. 調査の結果の考察(28)	32
33. 調査の結果の考察(29)	33
34. 調査の結果の考察(30)	34
35. 調査の結果の考察(31)	35
36. 調査の結果の考察(32)	36
37. 調査の結果の考察(33)	37
38. 調査の結果の考察(34)	38
39. 調査の結果の考察(35)	39
40. 調査の結果の考察(36)	40
41. 調査の結果の考察(37)	41
42. 調査の結果の考察(38)	42
43. 調査の結果の考察(39)	43
44. 調査の結果の考察(40)	44
45. 調査の結果の考察(41)	45
46. 調査の結果の考察(42)	46
47. 調査の結果の考察(43)	47
48. 調査の結果の考察(44)	48
49. 調査の結果の考察(45)	49
50. 調査の結果の考察(46)	50
51. 調査の結果の考察(47)	51
52. 調査の結果の考察(48)	52
53. 調査の結果の考察(49)	53
54. 調査の結果の考察(50)	54
55. 調査の結果の考察(51)	55
56. 調査の結果の考察(52)	56
57. 調査の結果の考察(53)	57
58. 調査の結果の考察(54)	58
59. 調査の結果の考察(55)	59
60. 調査の結果の考察(56)	60
61. 調査の結果の考察(57)	61
62. 調査の結果の考察(58)	62
63. 調査の結果の考察(59)	63
64. 調査の結果の考察(60)	64
65. 調査の結果の考察(61)	65
66. 調査の結果の考察(62)	66
67. 調査の結果の考察(63)	67
68. 調査の結果の考察(64)	68
69. 調査の結果の考察(65)	69
70. 調査の結果の考察(66)	70
71. 調査の結果の考察(67)	71
72. 調査の結果の考察(68)	72
73. 調査の結果の考察(69)	73
74. 調査の結果の考察(70)	74
75. 調査の結果の考察(71)	75
76. 調査の結果の考察(72)	76
77. 調査の結果の考察(73)	77
78. 調査の結果の考察(74)	78
79. 調査の結果の考察(75)	79
80. 調査の結果の考察(76)	80
81. 調査の結果の考察(77)	81
82. 調査の結果の考察(78)	82
83. 調査の結果の考察(79)	83
84. 調査の結果の考察(80)	84
85. 調査の結果の考察(81)	85
86. 調査の結果の考察(82)	86
87. 調査の結果の考察(83)	87
88. 調査の結果の考察(84)	88
89. 調査の結果の考察(85)	89
90. 調査の結果の考察(86)	90
91. 調査の結果の考察(87)	91
92. 調査の結果の考察(88)	92
93. 調査の結果の考察(89)	93
94. 調査の結果の考察(90)	94
95. 調査の結果の考察(91)	95
96. 調査の結果の考察(92)	96
97. 調査の結果の考察(93)	97
98. 調査の結果の考察(94)	98
99. 調査の結果の考察(95)	99
100. 調査の結果の考察(96)	100
101. 調査の結果の考察(97)	101
102. 調査の結果の考察(98)	102
103. 調査の結果の考察(99)	103
104. 調査の結果の考察(100)	104
105. 調査の結果の考察(101)	105
106. 調査の結果の考察(102)	106
107. 調査の結果の考察(103)	107
108. 調査の結果の考察(104)	108
109. 調査の結果の考察(105)	109
110. 調査の結果の考察(106)	110
111. 調査の結果の考察(107)	111
112. 調査の結果の考察(108)	112
113. 調査の結果の考察(109)	113
114. 調査の結果の考察(110)	114
115. 調査の結果の考察(111)	115
116. 調査の結果の考察(112)	116
117. 調査の結果の考察(113)	117
118. 調査の結果の考察(114)	118
119. 調査の結果の考察(115)	119
120. 調査の結果の考察(116)	120
121. 調査の結果の考察(117)	121
122. 調査の結果の考察(118)	122
123. 調査の結果の考察(119)	123
124. 調査の結果の考察(120)	124
125. 調査の結果の考察(121)	125
126. 調査の結果の考察(122)	126
127. 調査の結果の考察(123)	127
128. 調査の結果の考察(124)	128
129. 調査の結果の考察(125)	129
130. 調査の結果の考察(126)	130
131. 調査の結果の考察(127)	131
132. 調査の結果の考察(128)	132
133. 調査の結果の考察(129)	133
134. 調査の結果の考察(130)	134
135. 調査の結果の考察(131)	135
136. 調査の結果の考察(132)	136
137. 調査の結果の考察(133)	137
138. 調査の結果の考察(134)	138
139. 調査の結果の考察(135)	139
140. 調査の結果の考察(136)	140
141. 調査の結果の考察(137)	141
142. 調査の結果の考察(138)	142
143. 調査の結果の考察(139)	143
144. 調査の結果の考察(140)	144
145. 調査の結果の考察(141)	145
146. 調査の結果の考察(142)	146
147. 調査の結果の考察(143)	147
148. 調査の結果の考察(144)	148
149. 調査の結果の考察(145)	149
150. 調査の結果の考察(146)	150
151. 調査の結果の考察(147)	151
152. 調査の結果の考察(148)	152
153. 調査の結果の考察(149)	153
154. 調査の結果の考察(150)	154
155. 調査の結果の考察(151)	155
156. 調査の結果の考察(152)	156
157. 調査の結果の考察(153)	157
158. 調査の結果の考察(154)	158
159. 調査の結果の考察(155)	159
160. 調査の結果の考察(156)	160
161. 調査の結果の考察(157)	161
162. 調査の結果の考察(158)	162
163. 調査の結果の考察(159)	163
164. 調査の結果の考察(160)	164
165. 調査の結果の考察(161)	165
166. 調査の結果の考察(162)	166
167. 調査の結果の考察(163)	167
168. 調査の結果の考察(164)	168
169. 調査の結果の考察(165)	169
170. 調査の結果の考察(166)	170
171. 調査の結果の考察(167)	171
172. 調査の結果の考察(168)	172
173. 調査の結果の考察(169)	173
174. 調査の結果の考察(170)	174
175. 調査の結果の考察(171)	175
176. 調査の結果の考察(172)	176
177. 調査の結果の考察(173)	177
178. 調査の結果の考察(174)	178
179. 調査の結果の考察(175)	179
180. 調査の結果の考察(176)	180
181. 調査の結果の考察(177)	181
182. 調査の結果の考察(178)	182
183. 調査の結果の考察(179)	183
184. 調査の結果の考察(180)	184
185. 調査の結果の考察(181)	185
186. 調査の結果の考察(182)	186
187. 調査の結果の考察(183)	187
188. 調査の結果の考察(184)	188
189. 調査の結果の考察(185)	189
190. 調査の結果の考察(186)	190
191. 調査の結果の考察(187)	191
192. 調査の結果の考察(188)	192
193. 調査の結果の考察(189)	193
194. 調査の結果の考察(190)	194
195. 調査の結果の考察(191)	195
196. 調査の結果の考察(192)	196
197. 調査の結果の考察(193)	197
198. 調査の結果の考察(194)	198
199. 調査の結果の考察(195)	199
200. 調査の結果の考察(196)	200
201. 調査の結果の考察(197)	201
202. 調査の結果の考察(198)	202
203. 調査の結果の考察(199)	203
204. 調査の結果の考察(200)	204
205. 調査の結果の考察(201)	205
206. 調査の結果の考察(202)	206
207. 調査の結果の考察(203)	207
208. 調査の結果の考察(204)	208
209. 調査の結果の考察(205)	209
210. 調査の結果の考察(206)	210
211. 調査の結果の考察(207)	211
212. 調査の結果の考察(208)	212
213. 調査の結果の考察(209)	213
214. 調査の結果の考察(210)	214
215. 調査の結果の考察(211)	215
216. 調査の結果の考察(212)	216
217. 調査の結果の考察(213)	217
218. 調査の結果の考察(214)	218
219. 調査の結果の考察(215)	219
220. 調査の結果の考察(216)	220
221. 調査の結果の考察(217)	221
222. 調査の結果の考察(218)	222
223. 調査の結果の考察(219)	223
224. 調査の結果の考察(220)	224
225. 調査の結果の考察(221)	225
226. 調査の結果の考察(222)	226
227. 調査の結果の考察(223)	227
228. 調査の結果の考察(224)	228
229. 調査の結果の考察(225)	229
230. 調査の結果の考察(226)	230
231. 調査の結果の考察(227)	231
232. 調査の結果の考察(228)	232
233. 調査の結果の考察(229)	233
234. 調査の結果の考察(230)	234
235. 調査の結果の考察(231)	235
236. 調査の結果の考察(232)	236
237. 調査の結果の考察(233)	237
238. 調査の結果の考察(234)	238
239. 調査の結果の考察(235)	239
240. 調査の結果の考察(236)	240
241. 調査の結果の考察(237)	241
242. 調査の結果の考察(238)	242
243. 調査の結果の考察(239)	243
244. 調査の結果の考察(240)	244
245. 調査の結果の考察(241)	245
246. 調査の結果の考察(242)	246
247. 調査の結果の考察(243)	247
248. 調査の結果の考察(244)	248
249. 調査の結果の考察(245)	249
250. 調査の結果の考察(246)	250
251. 調査の結果の考察(247)	251
252. 調査の結果の考察(248)	252
253. 調査の結果の考察(249)	253
254. 調査の結果の考察(250)	254
255. 調査の結果の考察(251)	255
256. 調査の結果の考察(252)	256
257. 調査の結果の考察(253)	257
258. 調査の結果の考察(254)	258
259. 調査の結果の考察(255)	259
260. 調査の結果の考察(256)	260
261. 調査の結果の考察(257)	261
262. 調査の結果の考察(258)	262
263. 調査の結果の考察(259)	263
264. 調査の結果の考察(260)	264
265. 調査の結果の考察(261)	265
266. 調査の結果の考察(262)	266
267. 調査の結果の考察(263)	267
268. 調査の結果の考察(264)	268
269. 調査の結果の考察(265)	269
270. 調査の結果の考察(266)	270
271. 調査の結果の考察(267)	271
272. 調査の結果の考察(268)	272
273. 調査の結果の考察(269)	273
274. 調査の結果の考察(270)	274
275. 調査の結果の考察(271)	275
276. 調査の結果の考察(272)	276
277. 調査の結果の考察(273)	277
278. 調査の結果の考察(274)	278
279. 調査の結果の考察(275)	279
280. 調査の結果の考察(276)	280
281. 調査の結果の考察(277)	281
282. 調査の結果の考察(278)	282
283. 調査の結果の考察(279)	283
284. 調査の結果の考察(280)	284
285. 調査の結果の考察(281)	285
286. 調査の結果の考察(282)	286
287. 調査の結果の考察(283)	287
288. 調査の結果の考察(284)	288
289. 調査の結果の考察(285)	289
290. 調査の結果の考察(286)	290
291. 調査の結果の考察(287)	291
292. 調査の結果の考察(288)	292
293. 調査の結果の考察(289)	293
294. 調査の結果の考察(290)	294
295. 調査の結果の考察(291)	295
296. 調査の結果の考察(292)	296
297. 調査の結果の考察(293)	297
298. 調査の結果の考察(294)	298
299. 調査の結果の考察(295)	299
300. 調査の結果の考察(296)	300

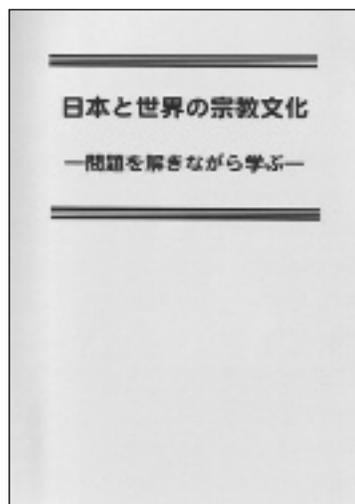
## 井上順孝編集『日本と世界の宗教文化—問題を解きながら学ぶ—』

(國學院大學、2016年2月)

### 内容紹介

平成27年度國學院大學特別推進研究「国際的視点からの宗教文化教育教材の総合的研究」(研究代表者:井上順孝)の助成を得て行われた研究の成果である。宗教文化士認定試験を実施している宗教文化教育推進センター(センター長・土屋博北海道大学名誉教授)の承諾を得た上で、同センターが実施した過去8回の試験のうちの記号選択式問題について、400問の中から200問を選び、解説を付したものである。問題と解説に用いられている重要な用語(人物名、団体名、事項名)をキーワードとする索引を作成し、どのような用語が宗教文化教育では重要であるかを示した。

解説はそれぞれの宗教史の専門家に依頼した。すなわち、市川裕(東京大学)、岩井洋(帝塚山大学)、岡田正彦(天理大学)、小田淑子(関西大学)、加瀬直弥(國學院大學)、櫻井義秀(北海道大学)、佐々木裕子(白百合女子大学)、土井健司(関西学院大学)、平藤喜久子(國學院大學)、星野靖二(國學院大學)、三木英(大阪国際大学)、八木久美子(東京外国語大学)、矢野秀武(駒澤大学)の各氏である。



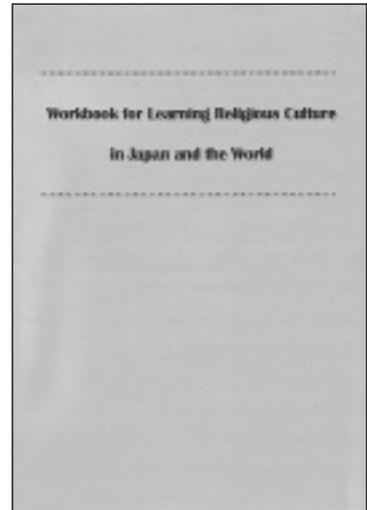
## 井上順孝編集『Workbook for Learning Religious Culture in Japan and the World』

(國學院大學、2016年2月)

### 内容紹介

平成27年度國學院大學特別推進研究「国際的視点からの宗教文化教育教材の総合的研究」(研究代表者:井上順孝)の助成を得て行われた研究の成果である。前掲『日本と世界の宗教文化—問題を解きながら学ぶ—』で選んだ200問を英訳し、英語圏の研究者や学生に日本における宗教文化教育の現状を説明するための一助とすることを目指して作成されたものである。

翻訳はAvery Morrow氏に依頼し、さらにこれを本学神道文化学部教授のNorman Havens氏に細かく校閲してもらった。



## 神社本庁監修(松本久史執筆)『神社検定公式テキスト9 神話のおへそ『古語拾遺』編』

(扶桑社、2015年12月)

### 内容紹介

日本文化興隆財団主催の「神社検定」の公式テキストであり、2016(平成28)年度と同検定には本書からの出題があり、2017(平成29)年度にも同様の予定である。斎部広成『古語拾遺』の全文を現代語訳し、さらに神道・神社とのかかわりを中心に、詳細な解説を加えている。三章から構成され、第一章は『古語拾遺』の現代語訳と概説、第二章は同書の成立背景としての忌部氏の歴史、古代律令制下における氏族の記録、律令祭祀と忌部伝承の関連性などを論じ、第三章においては『古語拾遺』本文の詳細な解説を加えた。「神社検定」のテキストではあるが、神道に関心のある大学生・社会人および現役神職の教養に資することも目的としており、『古語拾遺』への理解を入り口に、多様な神道古典への関心を喚起させる内容になっている。

